

**事業所名** グループホームともゆきの家  
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成16年11月25日

**評価機関名** ㈱東京リーガルマインド  
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

**評価調査員**  
A: 現職 居宅介護支援事業所介護支援専門員  
資格・経験 介護支援専門員・介護福祉士・特別養護老人ホーム介護員歴10年  
B: 現職 社会福祉法人生活指導員  
資格・経験 介護支援専門員・2級ホームヘルパー(5年)・社会福祉主事(2年)

**自主評価結果を見る** (事業者の自主評価結果にリンクします)

**評価項目の内容を見る** (評価項目にリンクします)

**事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)**  
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

**外部評価の結果**

**講評**

**全体を通して特に良いと思われる点など(記述)**

○外観は南欧風で、テラスがあり、開放的な雰囲気である。枕木を使ったエクステリアは、田園風景と共に、素朴な美しさで人を温かく包み、入居者は明るく表情も豊かなのがとても印象的である。

○玄関は日中施錠してなく、施設長・管理者・スタッフは、入居者が1人で外出しても、後ろからついて行き、安全を見守っている。利用者の尊厳保持は、地味ながら徹底している。

○施設内は広々としたリビングとダイニングがある。備前焼の置かれた茶室は落ち着いた空間になっている。トイレは壁一面が青い海の色で、そこに魚の絵が描いてあり、遊び心を感じた。

○散歩時、入居者は、ビニール袋と火バサミを持ち、ゴミや空き缶拾いをしていく。地域の人々に感謝され、そのことが入居者のやりがい、自信になっている。また、事業主やスタッフは地域の草刈などに参加し、地域の環境美化づくりに協力している。

○食事の献立は、入居者の意見を取り入れている。栄養に気をつけながら随時要望に応じて、共に調理している。食事が出来るまでのプロセスに参加することは、入居者の楽しみになっている。

○看護師でもある施設長は、医師との連絡を密にして、なるべく薬に頼らない生活を心がけている。食事や運動に気をつけ、週に1度は、おにぎり持参で近郊に出かけて自然とふれあい、行き交う人々と顔なじみになっている。

**特に改善の余地があると思われる点(記述)**

○課題として感じるのは、近くに商店がないので買物の機会が少ない点である。大型スーパー等に買物に出かければ、本人のかつての生活感覚、社会参加意欲を呼び覚まし、活動の範囲が広がると思われる。

**I 運営理念**

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
<b>記述項目</b>	<b>グループホームとしてめざしているものは何か(記述)</b>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「人としての尊厳」を根幹とし、人生の先輩である入居者が明るく楽しい毎日を送れるように支援する姿勢が見られた。</li> <li>・事業主の息子さんの名をホームに命名し、自分達と同じ家族のようにお互いが全員を支え合い、明るく笑い声が絶えないマイホーム生活を目指していた。その精神的なバックボーンとして「感謝の心」「前向きな心」「明るい心」を理念として掲げている。</li> <li>・利用者が、地域住民の一員として社会生活ができるように地域行事に積極的に参加し、密接な関係を保っていた。</li> </ul>		

**II 生活空間づくり**

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
<b>記述項目</b>	<b>入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)</b>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームのやり方(プログラム)を前面に押し出すことなく、入居者の自由裁量を尊重している。</li> <li>・特に新入居者の不安を取り除くために一緒に寝起きし、「帰る」と言っても外に出て行く人には、スタッフがどこまでも付いて行って時間を共にするなど、とことん見守りの姿勢を貫いている。</li> <li>・家族との連絡も密にしており、訪問しやすく、食事も一緒に取れるようになっている。</li> </ul>		

**III ケアサービス**

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	

**III ケアサービス(つづき)**

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		○
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にされた整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物支援		○
23	南米の人の受診に理解と配慮のある医療機関・入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持		○
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
<b>記述項目</b>	<b>一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)</b>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者個人1人ひとりの経験、生活スタイル、職業歴、家族環境個性・趣向を、家族と本人からしっかりとヒアリングし、把握している。できること、したくないことを、本人の自発的意思を尊重し、本人が積極的に取り組めるように支援している。</li> <li>・個人情報もしっかりファイルされ、管理者が責任をもって保管している。居室に入るときは、ノックと声をかけをし、許可を求めてから入室している。個人の尊厳とプライバシーを守るように心がけている。</li> </ul>		

**IV 運営体制**

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員意見の反映	○	
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
33	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
34	地域との連携と交流促進	○	
35	ホーム機能の地域への還元	○	
<b>記述項目</b>	<b>サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)</b>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業主自らがヘルパー2級の資格をとり、職員もヘルパーの資格習得やその他の研修会に参加し、自己研鑽に励んでいる。</li> <li>・事業主は積極的にケア情報を集め、家庭での家族介護の実践を生かし、ケアサービスの質の向上に意欲的である。</li> <li>・地域の自治会や家族との関係が密接である。町内会に入会し、地域の運動会や敬老会に参加している。また、入居者には家族の訪問がほとんど毎週あり、その際にエピソードも含め情報の提供をしている。</li> <li>・家族、自治会などの要請を入れて、地域に密着した在宅介護の事業展開に熱意を持って取り組んでいる。</li> </ul>		